

川田 健太 (かわだ けんた) / 箏、三絃



プロフィール

群馬県前橋市出身。

7歳より山田流箏曲を、9才より三味線を習い始める。

古典作品はもちろん、山田流独自の力強いタッチを活かし、ポップスやジャズ、演歌などをフルートやピアノ、ヴォーカルなどとともにジャンルを超えて共演するマルチなアーティストとして活躍している。

洗足学園音楽大学現代邦楽コース在学中。第33回国民文化祭・おおいた2018出演。地域音楽コーディネーター（音楽文化創造）。令和4・5年度公共ホール邦楽活性化事業 登録演奏家（地域創造）。

これまでに箏・三絃を櫻田晴波、中彩香能に、十七絃を石垣清美に師事。

Twitter : KawadaKenta

Instagram : syasyatenkawada

やってみたいアクティビティとコンサート

◇アクティビティ

箏や三味線の演奏を生で聴いて、生で見て「日本の楽器はカッコいい！」と多くの人に思ってもらえるようにという思いで演奏をしています。

また、ピアノやヴァイオリンと違い、箏では13本、三味線では3本という限られた絃と音の数の中で、箏や三味線にしか出せない「1音」や「旋律の美しさ」の魅力をもっと多くの人に聴いて、肌で感じてもらいたいと思い日々活動しています。

◇コンサート

これまでに140年以上前に建てられた蔵、洞窟、神社…など様々な場所で演奏してきました。

音楽+〇〇という地域に密着した親しみやすいコンサートを皆さまと創り上げたいと思っています。

日本の伝統音楽に触れるための入口になればと考え、演奏しています。

これまでの公共ホール邦楽活性化事業の派遣先

2022年度 特定非営利活動法人魚沼交流ネットワーク【新潟県魚沼市】

公益財団法人座間市スポーツ・文化振興財団【神奈川県座間市】